

農 業 (米作り・野菜・牛・みかん)

広野町の農業は、米作りが中心です。農家の人は、おいしい米を作るためにいろいろな工夫や努力をしています。また、野菜は、いろいろな種類しゅるいのものが作られていますが、ほとんどが自分の家で食べるために作られています。広野町特産とくさんのシイタケのほかにジャガイモ・春菊しゅんぎくなどが出荷しゅっかされています。

米ができるまで

作 業	時 期	作 業 の 内 容
田おこし	2月～3月 <small>いねか 稲刈り後, する人もいる</small>	○田を耕し田植えができるようにする
<small>なえ</small> 苗作り	4月頃	○ハウスなどで芽を出させる
しろかき	4月の終わり頃	○苗を植えやすいようにならす
田植え	5月の初め	○田に苗を植える
いねかり しゅうかく	10月初め	○育った稲をかり取る 脱穀 <small>だっこく</small> する

※ そのほかの作業として病気にならないように消毒しょうどくなども行われます。

米の種類

広野町では、おもに次の種類がつくられています。

○うるち米

コシヒカリ	味がよい。病気にはやや弱い。
ひとめぼれ	味がよい。しゅうかくりょうが多い。

○もち米

こがねもち など

